

恐るべきテクニックの持ち主で音楽的にも技術的にも
門熟した彼にとって、すべてのリスクは無縁である。

(ロンドンタイムズ紙)

素晴らしいテクニックとともに、堅固な構築性と
エレガンスを示した、非常に感動的な演奏。

(ベルリン・モルゲンポスト紙)

カーネギーホールでも
絶賛を博した
国際的ギタリスト

Yoshinobu Iwanaga 岩永善信 Guitar Recital ギターリサイタル

名古屋

2008年11月9日(日)
開演15:00(開場14:15)

 宗次ホール
Munetsugu Hall

全自由席
一般/¥4,000 学生/¥2,400
友の会会員/¥3,600

●主催: 宗次ホール

●協力: FMO企画 ●後援: 中部日本ギター協会

【チケット取り扱い】

◎宗次ホールチケットセンター Tel: 052-265-1718

◎チケットぴあ Tel: 0570-02-9999

◎芸文プレイガイド Tel: 052-201-5152

◎栄プレケ92 Tel: 052-953-0777

◎中日サービスセンター Tel: 052-263-7282

【お問い合わせ】

宗次ホール Tel: 052-265-1715

仙台

2008年11月20日(木)
開演19:30(開場19:00)

仙台市シルバーセンター
交流ホール

全自由席
当日/¥3,000 前売/¥2,600

●主催: アトレ企画 Attrait Planning

●後援: (財)仙台市市民文化事業団、
河北新報社、東北放送

【チケット取り扱い】

◎藤崎 ◎株式会社ヤマハミュージック東北仙台店

◎カワイミュージック仙台

【チケット取り扱い・お問い合わせ】

アトレ企画 Tel: 090-2459-0380 Fax: 03-5996-5333

Eメール: okaz@meth.biglobe.ne.jp

東京

2008年11月28日(金)
開演19:00(開場18:30)

 浜離宮朝日ホール

全自由席
当日/¥4,500 前売/¥4,000

●主催: アトレ企画 Attrait Planning

●後援:  スペイン大使館



チュニジア大使館

(株)赤ちゃんとママ社

【チケット取り扱い】

◎朝日ホール・チケットセンター Tel: 03-3267-9990

◎東京芸術劇場チケットサービス Tel: 03-5985-1707

◎東京文化会館チケットサービス Tel: 03-5815-5452

【お問い合わせ・お申込み】

アトレ企画 Tel: 090-2522-1539 Fax: 03-5996-5333

Eメール: okaz@meth.biglobe.ne.jp

Yoshinobu Iwanaga ギターリサイタル 岩永善信 Guitar Recital

PROGRAM

<第一部>

1. J.S.バッハ

リュート組曲3番BWV995

2. A.ピアソラ

天使の死 / ブエノスアイレス午前0時 / ブエノスアイレスの夏

<第二部>

3. E.グリーグ

ギターのための組曲“ペールギュント”

朝・オーセの死・アニトラの踊り・ソルベイグの歌

4. K.フリースネク

シュベルト「鱈」の主題による変奏曲

5. B.バルトーク

ルーマニア民俗舞曲

①棒踊り / ②帯踊り / ③足踏み踊り / ④アルペンホーンの踊り

⑤ルーマニアのポルカ / ⑥早くて細かい踊り

※曲目など変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。

Profile

パリ・エコール・ノルマル音楽院演奏家クラスを首席卒業。第1回日本ギターコンクール第1位入賞。第3回イタリア・ガルニアーノ国際ギターコンクール第1位入賞。第20回パリ国際ギターコンクール第2位入賞。等数々の賞を受賞。ベルギーを本拠としてヨーロッパでの演奏活動を展開。高い評価を得る中で、1990年、自らの音楽性を問い直すべく演奏活動を中断し、帰国。

1997年に日本で演奏活動を再開。研ぎ澄まされた感性と楽器の枠を超えたダイナミックで豊かな響きに支えられた演奏は、聴衆に大きなインパクトを与え、各地で熱狂的なファンを獲得し続けている。また、ソロ活動の他にもチェンバロ、フルート、声楽など他楽器とも共演し、ギターのジャンルを超えて広く支持されている。

2000年以降、活動の場を再び海外にも広げ、ヨーロッパ、アフリカ、東南アジア各地でのリサイタル、音楽祭出演などで絶賛を博す。2003年、シンガポール日本文化交流の実績により感謝状を贈られ、2004年より台中市吉他協会の特別顧問として台湾ギター協会の発展に寄与する。2007年は、カーネギーホールを含むアメリカでのコンサート、2008年4月韓国コンサートツアー、8月台湾コンサートを成功裏に終え、2009年6月アメリカコンサート、10月にはパリ、ベルギー、チュニジアコンサートを予定している。



Access

宗次ホール Munetsugu Hall



●地下鉄 栄駅12番出口より徒歩5分

●名古屋駅よりタクシーで約20分(料金:約1,200円)

Tel:052-265-1715 名古屋市中区栄4丁目5番14号

<http://www.munetsuguhall.com/>

仙台市シルバーセンター 交流ホール



●地下鉄仙台駅・広瀬通駅から徒歩約8分

●花京院シルバーセンター前バス停から徒歩約3分

Tel:022-215-3191 仙台市青葉区花京院1丁目3番2号

<http://www.sendai-hw.or.jp>

●浜離宮朝日ホール



●朝日新聞社新館2階 ●都営大江戸線築地市場駅下車A2出口すぐ

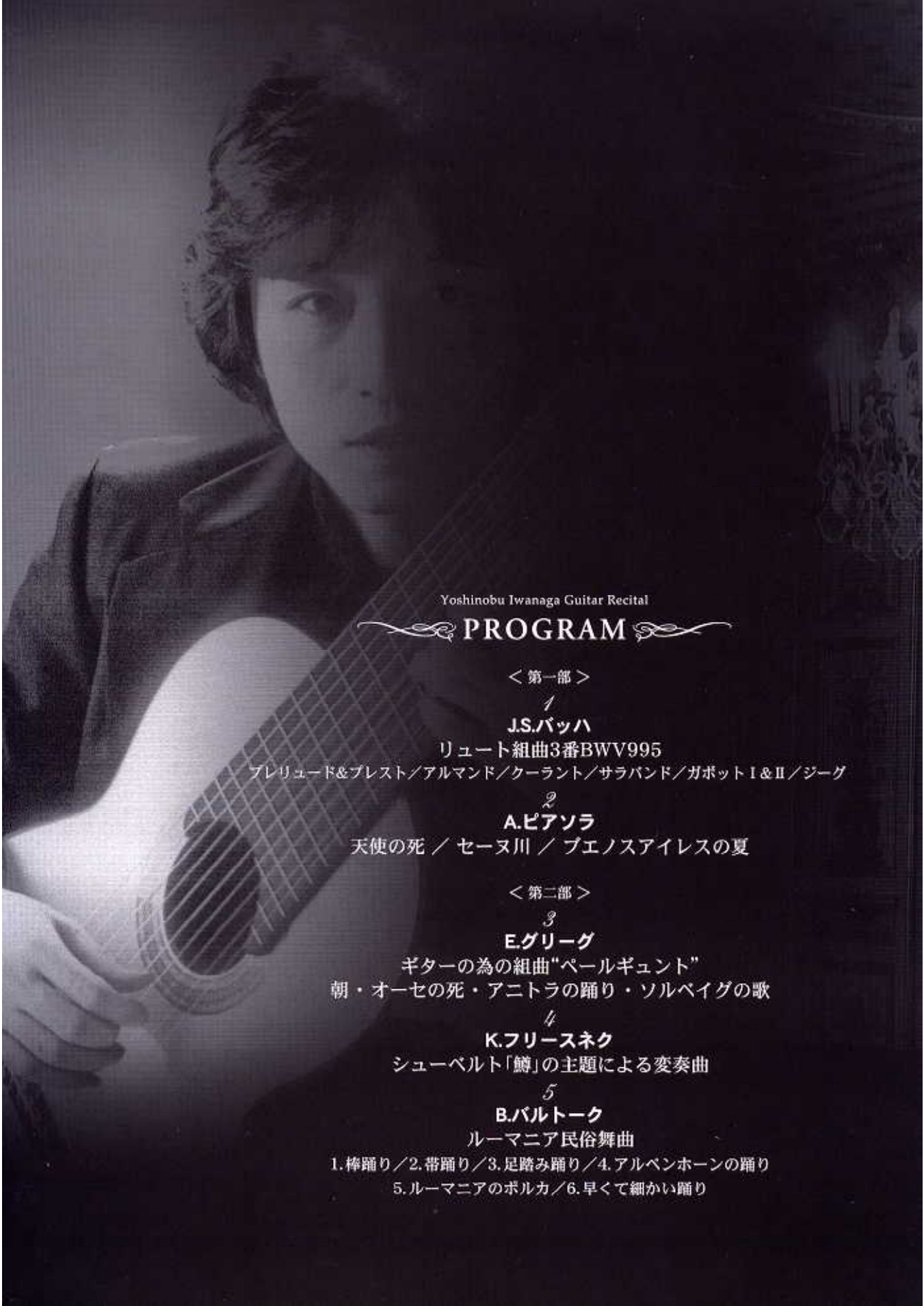
Tel:03-5541-8710 東京都中央区築地5丁目3番2号

<http://www.asahi-hall.jp/hamariyu/>

Yoshinobu Iwanaga
岩永善信 *Guitar Recital*
ギターリサイタル



2008 November
Nagoya / Sendai / Tokyo



Yoshinobu Iwanaga Guitar Recital

PROGRAM

< 第一部 >

1

J.S.バッハ

リュート組曲3番BWV995

プレリュード&プレスト／アルマンド／クーラント／サラバンド／ガボットⅠ&Ⅱ／ジーク

2

A.ピアソラ

天使の死／セーヌ川／プエノスアイレスの夏

< 第二部 >

3

E.グリーク

ギターの為の組曲“パールギェント”

朝・オーセの死・アニトラの踊り・ソルベイグの歌

4

K.フリースネク

シューベルト「鱒」の主題による変奏曲

5

B.バルトーク

ルーマニア民俗舞曲

1. 棒踊り／2. 帯踊り／3. 足踏み踊り／4. アルペンホーンの踊り

5. ルーマニアのボルカ／6. 早くて細かい踊り

Program Note 曲目解説

音楽評論家 高橋 望

リュート組曲 第3番 BWV995 <J.S.バッハ>

<プレリュード&プレスト> <アルマンド> <クーラント> <サラバンド> <ガボットI&II> <ジグ>

バッハが「無伴奏チェロ組曲第5番」を、バロック時代盛んに演奏された撥弦楽器リュート用に自ら編曲したもので、今日ギターの重要なレパートリーになっている。冒頭「プレリュード&プレスト」が緩急（フーガ）からなるフランス風序曲の形式をとること、「アルマンド」「クーラント」「ジグ」がいずれも付点音符を主体にしたスタイルで書かれ、簡潔な中に人魂を尽くした「サラバンド」、中間に変奏を挟んだ「ガボットI & II」を詠嘆と愁いに満ちているなど、バッハの4曲ある通称「リュート組曲」の中では最もフランス様式の強いものである。岩永善信は和声楽器ギターの機能を生かしつつ、原曲であるチェロの重厚な響きも採り入れ、6つの楽章を高い集中度と燃焼度で歌い上げている。

天使の死／セーヌ川／ブエノスアイレスの夏 <A.ピアソラ>

モダンタンゴの巨匠ピアソラの音楽は、伝統的なタンゴの世界では異端視されることもあったが、今日ではジャンルを超えてクラシック音楽へも大きな影響を及ぼしている。クラシックギターのためにも、協奏曲を含む4つのオリジナル作品を残した。ここに演奏される3曲、天使と悪魔の闘いを描いた連作から「天使の死」、緩やかで洒落た哀愁を香らせる「セーヌ川」、ブエノスアイレス気質といった意味の“ボルテーニャ”を原題に持つ四季4部作から「ブエノスアイレスの夏」はいずれも編曲だが、最初からギター独奏曲であるかの如く、多くのギタリストに愛奏されている。岩永善信の演奏は、原曲のバンドネオンを中心とする楽団の興奮度をも凌ぐ迫力に溢れたものである。

ギターの為の組曲“ペールギュント” <E.グリーグ>

<朝> <オーゼの死> <アニトラの踊り> <ソルヴェイグの歌>

「ペールギュント」はノルウェーの大作曲グリーグの代表作。次のような物語に付随音楽である。一攫千金を夢見る青年ペールギュントは、純真な恋人ソルヴェイグを棄て、冒険の旅に出る。清々しい「朝」はその船出の音楽。「オーゼの死」は帰郷したペールが母オーゼの死を看取る場面。しかし野心を捨てないペールは再び旅へ。「アニトラの踊り」はアラビアでペールが恋した娘の妖艶な舞い。やがて金鉱で大儲けしたペールだが船が難破し、結局無一文となって故郷へ辿り着くと、一人その帰りを待ち続けていたのは、年老いた恋人ソルヴェイグであった。「ソルヴェイグの歌」が静かに奏される。岩永善信はギター一本で、この変化に富んだ名曲の雄大さと繊細さを表現する。

シューベルト「鱒」の主題による変奏曲 <K.フリースネク>

清流を泳ぐ鱒が、やがて漁師に釣り上げられてしまう様子を歌ったシューベルトの歌曲、後にピアノ五重奏曲にも用いられた有名な「鱒」の旋律を主題とする変奏曲である。フリースネクはオーストリアのギタリストで、作品はこの1曲がわずかに知られている。イ短調の序奏の後、軽やかな「鱒」の主題に続いて、装飾的な3連譜を伴う第1変奏、細かいアルペジオにメロディーを乗せた第2変奏、短調に転じた第3変奏、流れるような3連譜の第4変奏と、6連音のアルペジオによる華やかなコーダーで閉じられる。岩永善信は、ギターを爪弾くこともあったと伝えられるシューベルトへの敬愛を込め、このあまり弾かれる機会のない作品をかねてよりステージに取り上げている。

ルーマニア民俗舞曲 <B.バルトーク>

①棒踊り ②帯踊り ③足踏み踊り ④アルペンホーンの踊り ⑤ルーマニアのボルカ ⑥早くて細かい踊り

バルトークは現代音楽の先駆者として、20世紀を代表するハンガリーの大作曲家。またルーマニアなどバルカン半島の民謡採譜にも務めた。「ルーマニア民族舞曲」は、そんなバルトークの両面、シャープで現代的な響きと民族的な親しみやすさを併せ持ち、6つの短い踊りからなる。勇壮で重々しい①、足早に通りすぎていく②、エキゾチックな旋律が紡がれる③、果てしなく瞑想が広がる④、快活に躍動する⑤は、そのまま⑥へと突入し一気にクライマックスへ至る。ギターと旋律楽器への編曲がしばしば演奏されるが、本日のようにギター一本で弾かれるのは珍しい。ときに神秘的、ときに熱狂的なそれぞれの踊りは、岩永善信ならではの激しいコントラストをつけて演奏される。

恐るべきテクニックの持ち主で
音楽的にも技術的にも円熟した彼にとって、
すべてのリスクは無縁である。
(ロンドンタイムズ紙)

素晴らしいテクニックとともに、堅固な構築性と
エレガンスを示した、非常に感動的な演奏。
(ベルリン・モルゲンポスト紙)

どんな批評家も脱帽してしまう。この様に美しい響きを持つ音、
この様に流麗な演奏、この様に完璧なエレガートは、
ギタリストの演奏会では滅多に聴くことができない。
(アントワープ・ニューガゼット紙)

今や最も卓越した演奏家の一人であり、様々な
ハーモニーからなるデリケートな陰影を駆使する事によって、
彼は明快にかつ生き生きと演奏している。
(スイス・チューリッヒ紙)

Overseas Reviews
海外批評



Profile

パリ・エコール・ノルマル音楽院演奏家クラスを首席卒業。第1回日本ギターコンクール第1位入賞。第3回イタリア・ガルニアーノ国際ギターコンクール第1位入賞。第20回パリ国際ギターコンクール第2位入賞。等数々の賞を受賞。ベルギーを本拠としてヨーロッパでの演奏活動を展開。高い評価を得る中で、1990年、自らの音楽性を問い直すべく演奏活動を中断し、帰国。

1997年に日本で演奏活動を再開。研ぎ澄まされた感性と楽器の枠を超えたダイナミックで豊かな響きに支えられた演奏は、聴衆に大きなインパクトを与え、各地で熱狂的なファンを獲得し続けている。また、ソロ活動の他にもチェンバロ、フルート、声楽など他楽器とも共演し、

ギターのジャンルを超えて広く支持されている。

2000年以降、活動の場を再び海外にも広げ、ヨーロッパ、アフリカ、東南アジア各地でのリサイタル、音楽祭出演などで絶賛を博す。2003年、シンガポール日本文化交流の実績により感謝状を贈られ、2004年より台中市吉他協会の特別顧問として台湾ギター協会の発展に寄与する。2007年は、カーネギーホールを含むアメリカでのコンサート、2008年4月韓国コンサートツアー、8月台湾コンサートを成功裏に終え、2009年6月アメリカコンサート、10月にはフランス、チュニジア、ドイツ、ベルギーコンサートを予定している。

— 名古屋 —

2008年11月9日(日) 開演15:00 (開場14:15)

 宗次ホール
Munetsugu Hall

主催: 宗次ホール

協力: FMO企画 後援: 中部日本ギター協会

— 仙台 —

2008年11月20日(木) 開演19:30 (開場19:00)

仙台市シルバーセンター交流ホール

主催: アトレ企画 Astrait Planning Office

後援: (財)仙台市市民文化事業団  河北新報社  TBC東北放送

— 東京 —

2008年11月28日(金) 開演19:00 (開場18:30)

 浜離宮朝日ホール

主催: アトレ企画 Astrait Planning Office

後援:  スペイン大使館  チュニジア大使館 (株)赤ちゃんとママ社